

財産目録

(令和3年3月31日現在)

(単位:円) 1頁

貸借対照表科目	場所・物量等	取得 年度	使用目的等	取得価格	減価償却 累計額	貸借対照表 価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	
現金	小口現金	—	運転資金として	—	—	69,534
預金	但馬銀行本店営業部	—	運転資金として	—	—	242,554,517
小計(現金預金)						242,624,051
事業未収金		—	豊岡市他7件	—	—	114,987,249
未収補助金		—	豊岡市他4件	—	—	1,631,898
前払費用		—	賠償等保険料2件	—	—	1,227,816
短期貸付金		—	利用者立替金会計	—	—	1,500,000
徴収不能引当金		—		—	—	△ 3,452,942
流動資産合計						358,518,072
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(加陽いちごの里拠点)兵庫県豊岡市加陽659番地(1749.05㎡)	—	第2種社会福祉事業である老人デイサービス事業に使用している。	—	—	16,013,750
建物	(このとり荘拠点)兵庫県豊岡市塩津町2番37号建物他32件	昭和60年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホームに使用している。	1,603,374,196	1,158,297,110	445,077,086
	(このとり荘拠点)兵庫県豊岡市塩津町2番36号建物他7件	平成22年度	第2種社会福祉事業である老人デイサービス事業に使用している。	105,649,754	42,207,243	63,442,511
	(コスモス荘拠点)兵庫県豊岡市塩津町2番36号建物他3件	平成21年度	第1種社会福祉事業である養護老人ホームに使用している。	297,857,514	157,644,721	140,212,793
	(加陽いちごの里拠点)兵庫県豊岡市加陽659番地建物他1件	平成18年度	第2種社会福祉事業である老人デイサービス事業に使用している。	19,458,732	15,361,499	4,097,233
小計(建物)						652,829,623
定期預金	但馬銀行本店営業部	—	基本財産特定預金	—	—	1,000,000
基本財産合計						669,843,373
(2) その他の固定資産						
建物	物置外 50件	—	利用者用等	91,831,051	41,607,715	50,223,336
構築物	玄武岩庭石外 10件	—	利用者用等	10,612,164	8,888,300	1,723,864
機械及び装置	プレハブ冷凍冷蔵庫外 68件	—	利用者用等	53,045,273	40,317,131	12,728,142
車輛運搬具	トヨタ ノア外 22件	—	利用者送迎用等	50,104,360	38,069,486	12,034,874
器具及び備品	オーバーヘッドフレーム外 417件	—	利用者用等	135,826,270	114,923,509	20,902,761
有形リース資産	パソコン28台他	—		5,974,418	1,187,338	4,787,080
権利	電話加入権 3台	—		—	—	224,128
ソフトウェア	無形固定資産 14件	—	介護システム等	6,731,626	5,673,708	1,057,918
無形リース資産	パソコン28台他	—		3,460,078	599,112	2,860,966
退職給付引当資産	退職共済事業主累計額127名	—		—	—	103,509,553
長期前払費用	車輛リサイクル預託金外12件	—		—	—	833,993
施設整備積立資産	施設整備積立金	—		—	—	400,262,206
その他の積立資産	人件費積立金	—		—	—	53,000,000
その他の固定資産合計						664,148,821
固定資産合計						1,333,992,194
資産合計						1,692,510,266

財産目録

(令和3年3月31日現在) (単位:円) 2頁

貸借対照表科目	場所・物量等	取得 年度	使用目的等	取得価格	減価償却 累計額	貸借対照表 価額
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	社会保険外61件	—		—	—	23,638,038
1年以内 返済予定リース債務	パソコンリース債務	—		—	—	2,227,282
預り金	入所者散髪代	—		—	—	3,400
職員預り金	所得税外1件	—		—	—	2,610,150
賞与引当金	12月～3月分 139名	—	令和3年度夏季賞与引当額	—	—	38,730,833
流動負債合計						67,209,703
2 固定負債						
リース債務	パソコンリース債務	—		—	—	6,144,905
退職給付引当金	退職共済期末要支給額122名	—		—	—	154,585,704
固定負債合計						160,730,609
負債合計						227,940,312
差引純資産						1,464,569,954

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
 - ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
 - ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
 - ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
- なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
 - ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
 - ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
 - ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

貸借対照表

(令和 3年 3月31日現在)

(単位 : 円)

1頁

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債	67,209,703	64,967,139	2,242,564
現金預金	358,518,072	338,309,895	20,208,177	事業未払金	23,638,038	26,048,418	△2,410,380
事業未収金	242,624,051	219,253,468	23,370,583	1年以内返済予定リース債務	2,227,282	1,395,684	831,598
未収補助金	114,987,249	117,720,868	△2,733,619	預り金	3,400		3,400
前払費用	1,631,898	1,631,786	112	職員預り金	2,610,150	2,506,276	103,874
短期貸付金	1,227,816	1,734,784	△506,968	賞与引当金	38,730,833	35,016,761	3,714,072
	1,500,000	1,500,000					
徴収不能引当金	△3,452,942	△3,531,011	78,069				
固定資産	1,333,992,194	1,351,044,565	△17,052,371	固定負債	160,730,609	157,396,550	3,334,059
基本財産	669,843,373	724,993,040	△55,149,667	リース債務	6,144,905	4,768,587	1,376,318
土地	16,013,750	16,013,750		退職給付引当金	154,585,704	152,627,963	1,957,741
建物	652,829,623	707,979,290	△55,149,667	負債の部合計	227,940,312	222,363,689	5,576,623
定期預金	1,000,000	1,000,000		純資産の部			
その他の固定資産	664,148,821	626,051,525	38,097,296	基本金	213,584,976	213,584,976	
建物	50,223,336	54,028,545	△3,805,209	第一号基本金	213,584,976	213,584,976	
構築物	1,723,864	2,441,392	△717,528	国庫補助金等特別積立金	375,720,137	401,579,840	△25,859,703
機械及び装置	12,728,142	17,889,370	△5,161,228	その他の積立金	453,262,206	407,931,758	45,330,448
車輛運搬具	12,034,874	13,170,754	△1,135,880	施設整備積立金	400,262,206	354,931,758	45,330,448
器具及び備品	20,902,761	18,822,917	2,079,844	人件費積立金	53,000,000	53,000,000	
有形リース資産	4,787,080	4,197,918	589,162	次期繰越活動増減差額	422,002,635	443,894,197	△21,891,562
権利	224,128	224,128		(うち当期活動増減差額)	23,438,886	△58,891,589	82,330,475
ソフトウェア	1,057,918	1,794,763	△736,845				
無形リース資産	2,860,966	1,480,078	1,380,888				
退職給付引当資産	103,509,553	103,488,797	20,756				
その他の積立資産		407,931,758	△407,931,758				
長期前払費用	833,993	581,105	252,888				
施設整備積立資産	400,262,206		400,262,206				
人件費積立資産	53,000,000		53,000,000	純資産の部合計	1,464,569,954	1,466,990,771	△2,420,817
資産の部合計	1,692,510,266	1,689,354,460	3,155,806	負債及び純資産の部合計	1,692,510,266	1,689,354,460	3,155,806

事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	3月末金額(A)	前年度金額(B)	増減(A)-(B)	前年比
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収益				
	介護保険事業収益	771,253,156	767,727,367	3,525,789	100.46%
	施設介護料収益	444,023,697	442,176,474	1,847,223	100.42%
	居宅介護料収益	172,927,551	168,577,642	4,349,909	102.58%
	(介護報酬収益)	154,383,627	150,527,554	3,856,073	102.56%
	(利用者負担金収益)	18,543,924	18,050,088	493,836	102.74%
	居宅介護支援介護料収益	23,071,170	23,975,090	△903,920	96.23%
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,993,710	9,221,731	△1,228,021	86.68%
	利用者等利用料収益	121,059,690	121,737,834	△678,144	99.44%
	その他の事業収益	2,177,338	2,038,596	138,742	106.81%
	老人福祉事業収益	128,536,680	125,792,617	2,744,063	102.18%
	措置事業収益	128,536,680	125,792,617	2,744,063	102.18%
	その他の事業収益	4,416,992	1,330,282	3,086,710	332.03%
	その他の事業収益	4,416,992	1,330,282	3,086,710	332.03%
	経常経費寄附金収益	553,000	274,000	279,000	201.82%
	サービス活動収益計(1)	904,759,828	895,124,266	9,635,562	101.08%
費 用	人件費	671,994,831	648,423,829	23,571,002	103.64%
	役員報酬	219,000	217,000	2,000	100.92%
	職員給料	395,667,533	392,734,154	2,933,379	100.75%
	職員賞与	88,432,343	83,564,236	4,868,107	105.83%
	賞与引当金繰入	38,730,833	35,016,760	3,714,073	110.61%
	非常勤職員給与	34,576,320	27,131,371	7,444,949	127.44%
	退職給付費用	29,539,452	29,098,696	440,756	101.51%
	法定福利費	84,829,350	80,661,612	4,167,738	105.17%
	事業費	121,088,987	119,542,751	1,546,236	101.29%
	給食費	51,951,911	53,430,455	△1,478,544	97.23%
	介護用品費	6,660,365	7,165,295	△504,930	92.95%
	医薬品費	5,692,399	4,195,063	1,497,336	135.69%
	保健衛生費	453,093	427,152	25,941	106.07%
	被服費	248,178	389,680	△141,502	63.69%
	教養娯楽費	589,676	632,524	△42,848	93.23%
	日用品費	2,269,762	2,543,871	△274,109	89.22%
	本人支給金	3,558,591	3,564,939	△6,348	99.82%
	水道光熱費	32,939,169	31,921,425	1,017,744	103.19%
	燃料費	373,024	1,795,751	△1,422,727	20.77%
	消耗器具備品費	6,604,987	3,049,376	3,555,611	216.60%
	保険料	733,560	730,490	3,070	100.42%
	賃借料	6,428,192	6,739,654	△311,462	95.38%
	車輛費	2,456,280	2,877,072	△420,792	85.37%
	雑費	129,800	80,004	49,796	162.24%
	事務費	43,550,688	135,678,454	△92,127,766	32.10%
	福利厚生費	4,966,615	5,296,684	△330,069	93.77%
	職員被服費	1,066,084	1,542,288	△476,204	69.12%
	旅費交通費	22,091	45,052	△22,961	49.03%
	研修研究費	609,753	1,112,118	△502,365	54.83%
	事務消耗品費	1,229,008	1,249,693	△20,685	98.34%
	印刷製本費	158,222	66,496	91,726	237.94%
	水道光熱費	937,985	968,442	△30,457	96.86%
	修繕費	6,620,236	97,569,442	△90,949,206	6.79%
	通信運搬費	1,688,233	1,664,582	23,651	101.42%
	会議費	15,034	14,359	675	104.70%
	広報費	63,000	85,400	△22,400	73.77%
	業務委託費	10,305,687	10,191,605	114,082	101.12%
	手数料	238,719	249,678	△10,959	95.61%
	保険料	1,660,148	1,666,564	△6,416	99.62%

事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位: 円) 2頁

勘定科目		3月末金額(A)	前年度金額(B)	増減(A)-(B)	前年比
	賃借料	2,990,569	3,111,615	△121,046	96.11%
	土地・建物賃借料	1,262,453	1,262,453		100.00%
	租税公課	209,250	194,550	14,700	107.56%
	保守料	8,554,238	8,040,592	513,646	106.39%
	渉外費	59,300	391,091	△331,791	15.16%
	諸会費	818,500	815,700	2,800	100.34%
	雑費	75,563	140,050	△64,487	53.95%
	利用者負担軽減額	3,413,018	3,033,241	379,777	112.52%
	減価償却費	80,630,624	78,054,967	2,575,657	103.30%
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△32,346,953	△32,110,536	△236,417	100.74%
	徴収不能引当金繰入	△78,069	115,218	△193,287	△67.76%
	サービス活動費用計(2)	888,253,126	952,737,924	△64,484,798	93.23%
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	16,506,702	△57,613,658	74,120,360	△28.65%
サービス活動増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	41,559	46,736	△5,177	88.92%
	その他のサービス活動外収益	10,023,840	14,062,985	△4,039,145	71.28%
	受入研修費収益	94,228	193,814	△99,586	48.62%
	利用者等外給食収益	16,250	7,800	8,450	208.33%
	雑収益	9,913,362	13,861,371	△3,948,009	71.52%
	サービス活動外収益計(4)	10,065,399	14,109,721	△4,044,322	71.34%
	費用				
	支払利息	163,632	64,225	99,407	254.78%
	その他のサービス活動外費用	3,125,136	9,859,975	△6,734,839	31.70%
特別増減の部	雑損失	3,125,136	9,859,975	△6,734,839	31.70%
	サービス活動外費用計(5)	3,288,768	9,924,200	△6,635,432	33.14%
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6,776,631	4,185,521	2,591,110	161.91%
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	23,283,333	△53,428,137	76,711,470	△43.58%
	収益				
	施設整備等補助金収益	6,487,250	8,822,086	△2,334,836	73.53%
	施設整備等補助金収益	6,487,250	8,822,086	△2,334,836	73.53%
	固定資産受贈額	155,560	1,000,000	△844,440	15.56%
	固定資産受贈額	155,560	1,000,000	△844,440	15.56%
	特別収益計(8)	6,642,810	9,822,086	△3,179,276	67.63%
特別増減の部	費用				
	固定資産売却損・処分損	7	6,487,482	△6,487,475	0.00%
	建物売却損・処分損		5,349,606	△5,349,606	0.00%
	車輦運搬具売却損・処分損	1	4	△3	25.00%
	器具及び備品売却損・処分損	6	24,041	△24,035	0.02%
	その他の固定資産売却損・処分損		1,113,831	△1,113,831	0.00%
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△5,201,944	5,201,944	0.00%
	国庫補助金等特別積立金積立額	6,487,250	14,000,000	△7,512,750	46.34%
	特別費用計(9)	6,487,257	15,285,538	△8,798,281	42.44%
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	155,553	△5,463,452	5,619,005	△2.85%
繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	23,438,886	△58,891,589	82,330,475	△39.80%
	前期繰越活動増減差額(12)	443,894,197	516,344,750	△72,450,553	85.97%
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	467,333,083	457,453,161	9,879,922	102.16%
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金取崩額				
	その他の積立金積立額(16)	45,330,448	13,558,964	31,771,484	334.32%
	その他の積立金積立額	45,330,448	13,558,964	31,771,484	334.32%
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	422,002,635	443,894,197	△21,891,562	95.07%

資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	768,615,000	771,253,156	△2,638,156	
	施設介護料収入	443,400,000	444,023,697	△623,697	
	居宅介護料収入	171,890,000	172,927,551	△1,037,551	
	(介護報酬収入)	154,100,000	154,383,627	△283,627	
	(利用者負担金収入)	17,790,000	18,543,924	△753,924	
	居宅介護支援介護料収入	23,000,000	23,071,170	△71,170	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,840,000	7,993,710	△153,710	
	利用者等利用料収入	120,440,000	121,059,690	△619,690	
	その他の事業収入	2,050,000	2,177,338	△127,338	
	(保険等査定減)	△5,000		△5,000	
	老人福祉事業収入	129,800,000	128,536,680	1,263,320	
	措置事業収入	129,800,000	128,536,680	1,263,320	
	その他の事業収入	250,000	4,416,992	△4,166,992	
	その他の事業収入	250,000	4,416,992	△4,166,992	
	経常経費寄附金収入	630,000	708,560	△78,560	
	受取利息配当金収入	45,000	41,559	3,441	
	その他の収入	2,565,000	2,393,609	171,391	
	受入研修費収入	194,000	94,228	99,772	
	利用者等外給食費収入	30,000	16,250	13,750	
	雑収入	2,341,000	2,283,131	57,869	
	事業活動収入計(1)	901,905,000	907,350,556	△5,445,556	
	支出				
	人件費支出	666,040,000	665,686,216	353,784	
	役員報酬支出	300,000	219,000	81,000	
	職員給料支出	396,060,000	395,847,533	212,467	
	職員賞与支出	123,540,000	123,449,104	90,896	
	非常勤職員給与支出	34,800,000	34,396,320	403,680	
	退職給付支出	27,640,000	26,944,909	695,091	
	法定福利費支出	83,700,000	84,829,350	△1,129,350	
	事業費支出	126,550,000	121,088,987	5,461,013	
	給食費支出	54,100,000	51,949,833	2,150,167	
	介護用品費支出	7,100,000	6,660,365	439,635	
	医薬品費支出	5,950,000	5,692,399	257,601	
	保健衛生費支出	460,000	453,093	6,907	
	被服費支出	650,000	248,178	401,822	
	教養娯楽費支出	780,000	589,676	190,324	
	日用品費支出	2,670,000	2,269,762	400,238	
	本人支給金支出	3,650,000	3,558,591	91,409	
	水道光熱費支出	32,930,000	32,939,169	△9,169	
	燃料費支出	470,000	373,024	96,976	
	消耗器具備品費支出	6,850,000	6,607,065	242,935	
	保険料支出	760,000	733,560	26,440	
	賃借料支出	6,830,000	6,428,192	401,808	
	車輜費支出	3,190,000	2,456,280	733,720	
	雑支出	160,000	129,800	30,200	
	事務費支出	46,059,000	43,550,688	2,508,312	
	福利厚生費支出	5,390,000	4,966,615	423,385	
	職員被服費支出	1,430,000	1,066,084	363,916	
	旅費交通費支出	190,000	22,091	167,909	
	研修研究費支出	630,000	609,753	20,247	
	事務消耗品費支出	1,601,000	1,229,008	371,992	
	印刷製本費支出	190,000	158,222	31,778	
	水道光熱費支出	970,000	937,985	32,015	
	燃料費支出	30,000		30,000	
	修繕費支出	6,800,000	6,620,236	179,764	
	通信運搬費支出	1,830,000	1,688,233	141,767	
	会議費支出	80,000	15,034	64,966	
	広報費支出	100,000	63,000	37,000	
	業務委託費支出	10,360,000	10,305,687	54,313	
	手数料支出	300,000	238,719	61,281	
	保険料支出	1,730,000	1,660,148	69,852	
	賃借料支出	3,060,000	2,990,569	69,431	
	土地・建物賃借料支出	1,263,000	1,262,453	547	
	租税公課支出	290,000	209,250	80,750	
	保守料支出	8,390,000	8,554,238	△164,238	
	渉外費支出	130,000	59,300	70,700	
	諸会費支出	895,000	818,500	76,500	
	雑支出	400,000	75,563	324,437	

資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 2頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	利用者負担軽減額	3,500,000	3,413,018	86,982	
	その他の支出	1,090,000	195,630	894,370	
	利用者等外給食費支出	20,000		20,000	
	雑支出	1,070,000	195,630	874,370	
	流動資産評価損等による資金減少額	6,000		6,000	
	徴収不能額	6,000		6,000	
	事業活動支出計(2)	843,245,000	833,934,539	9,310,461	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	58,660,000	73,416,017	△14,756,017	
	施設整備等補助金収入	9,532,000	6,487,250	3,044,750	
	施設整備等補助金収入	9,532,000	6,487,250	3,044,750	
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	9,532,000	6,487,250	3,044,750	
	固定資産取得支出	14,945,000	14,217,668	727,332	
	建物取得支出	1,000,000	660,000	340,000	
	車輦運搬具取得支出	4,400,000	4,074,820	325,180	
	器具及び備品取得支出	9,545,000	9,482,848	62,152	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,000,000	1,950,084	49,916	
	施設整備等支出計(5)	16,945,000	16,167,752	777,248	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△7,413,000	△9,680,502	2,267,502	
	積立資産取崩収入	14,350,000	13,683,909	666,091	
	退職給付引当資産取崩収入	14,350,000	13,683,909	666,091	
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	14,350,000	13,683,909	666,091	
	積立資産支出	55,533,000	54,986,210	546,790	
	退職給付引当資産支出	10,200,000	9,655,762	544,238	
	施設整備等積立資産支出	45,333,000	45,330,448	2,552	
	その他の活動支出計(8)	55,533,000	54,986,210	546,790	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△41,183,000	△41,302,301	119,301	
予備費支出(10)		9,000,000		9,000,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,064,000	22,433,214	△21,369,214	
前期末支払資金残高(12)		313,286,000	313,286,212	△212	
当期末支払資金残高(11)+(12)		314,350,000	335,719,426	△21,369,426	

監査報告書

令和3年5月31日

社会福祉法人 北但社会福祉事業会 御中

監事

榊原定雄 

監事

三木邦彦 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事等の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

II 監査の結果

1 事業報告等の監査結果

監事 榊原定雄

- ・事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・理事等の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ・法令及び定款に従い理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会は適正に開催されています。
- ・職員の配置状況は、介護保険法等の関連法規に基づく基準を満たしています。

(1) 各事業所について

ア こうのとりの荘は、令和2年度の退所者数が33人でしたが、33人中25人が下半期に集中したこともあり、一日平均利用者数は前年度実績138.6人を下回る137.6人で目標達成できませんでした。今年度はスムーズな入所調整を図り、空床を最小限に留めて、入所を心待ちにする利用者・家族の希望に応える対応を望みます。

イ コスモス荘は、令和2年度一日平均利用者数が57.1人で、前年度実績の58.3人を下回っています。養護老人ホームという特性上、施設で入所を決定できない事情もありますが、関係機関とどのようなアプローチで連携を図れば結果が得られるかなど、きめ細やかな対応を精査・実行して、実績を回復することを望みます。

ウ 加陽いちごの里は、令和2年度の一日平均利用者数が15.7人で、目標の16人を達成できませんでした。豊岡市内には多くのデイサービスセンターがあるため、前例踏襲するだけの対応では競争に打ち勝つことはできません。今後は十分に工夫を凝らして、利用者やケアマネジャーに選ばれる事業所を目指されることを望みます。

エ 豊岡やなぎの里は、令和2年度の一日平均利用者数が21.0人で、前年度実績の20.8人を上回っています。この結果に慢心することなく、引き続き、利用者に喜ばれ、利用者の生きがいにつながるケアを期待します。

オ こうのとり居宅支援センターは、職員の入れ替わりもあり、令和2年度のケアマネジャー1人あたりの月平均担当件数は34.8人で、前年度実績の35.8人を下回りました。居宅介護支援事業所の場合、効率性や実績確保のみを追求すると利用者・家族の信頼を損ねる対応につながりかねないため、傍らに寄り添うような丁寧な対応で、お客様との信頼関係を構築されることを望みます。

(2) 法人運営について

令和2年度は「新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに終わった。」年度でした。豊岡市内の介護事業所でも2件の感染者が出るなど身近に迫っている中、一人の感染者も出さず、影響を最小限に留めながら新年度を迎えられたことは喜ばしい限りです。しかし、都市部の変異型ウイルス感染による重傷者・死亡者の増加からも見てとれる通り、新型コロナウイルスの恐怖は過ぎ去ったわけではありません。当法人のお客様は重症化しやすい高齢者であることを念頭に、職員全員で感染防止に努め、仮に発症者がした場合でも、絶対クラスターにしない強い気持ちで徹底した蔓延防止に取り組んで、利用者に安心安全な生活を提供されることを希望します。

(3) 人事管理について

豊岡市の有効求人倍率が(令和3年2月時点で)1.26倍と前年同期の1.55倍から下がってきましたが、介護職に限定すると兵庫県の有効求人倍率3.18倍で、業界は依然深刻な人材難である中で、当法人で退職者を6名に抑えることができたことは、人事管理がまずまずうまくいっている証拠です。豊岡消防本部でのパワーハラスメントが新聞に掲載されましたが、人事管理の基本としては良好な人間関係構築が重要となるため、ハラスメントが無い職場を目指していただきたい。加えて、職員の平均年齢が48.9歳と高齢化してきているため、定年後も安心して働ける職場形成を希望します。

2 財務関係

監 事 三 木 邦 彦

・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(1) 会計監査については、総勘定元帳並びに関係書類の閲覧、聴き取り等必要と思われる

る監査手続きを用いて計算の正確性を検討しました。

計算書類は経理規程に定められている法人全体、拠点区分及びサービス区分毎にそれぞれ資金収支計算書、事業活動計算書及び貸借対照表が作成されており必要事項を中心に監査しました。

- (2) 計算関係書類が当事業会の財産、収支及び純財産の増減の状況を重要な点において適正に表示しているかどうかについて検討しました。

ア 計算関係書類の増減の状況について、当事業会と拠点区分毎にそれぞれ事業活動計算書及び貸借対照表が前年対比表で、資金収支計算書は予算との対比表が添付されており、増減と変動等が表示されています。

イ 財産は、基本財産とその他の財産とに区分して管理されています。

ウ 固定資産は、勘定科目毎に且つ拠点区分毎に（一部はサービス区分毎に）管理されています。

エ 証憑書類は、会計責任者の承認を受け、会計伝票と関連を明らかにし、整理保存されています。

- (3) 会計処理について

ア リース取引について

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引は、有形固定資産、無形固定資産ごとに、一括してリース資産として表示されています。リース資産以外の重要性の乏しい少額なものは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理されており、リース契約による決算日における未経過リース料の総額は、3,494,817円であります。

イ 棚卸資産の会計処理について

棚卸資産としては、おむつ等療養材料、給食用材料、医療品等が該当しますが、いずれも経常的に消費するもので、常時保有する数量はわずかで台帳に記載する等により管理されており、購入時に消費したものとして処理されています。（経理規程第44条3項適用）

- (4) 事業活動計算書について

事業活動の成果を示す、事業活動計算書について検討しました。

別紙「令和2年度決算事業活動要約計算書前年対比表」参照

事業会全体を見ますと、収入の部で、介護保険収入で特定処遇改善加算が半年分加わり3,524千円増額、老人福祉関係では単価改定により2,744千円増額し、その他の事業収益では新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金で3,956千円増額し、収入の部全体としては10,505千円増額となりました。

費用の部では、人件費の内訳で、前年度と対比して65才以降再雇用3名により非常勤職員が7,445千円増加、特定処遇改善加算収入（6,790千円）を財源にした職員給与、賞与、処遇改善一時金及び社会保険料の8,894千円増加が主要要因で人件費全体として23,569千円増額となりました。

事務費では、前年度は外壁塗装工事があったため、修繕費が減額となり92,128千

円減額となりました。費用の部全体として 63,616 千円減額となり、サービス活動増減差額は、74,121 千円増額し、黒字となりました。

サービス区分別で見ますと、「こうのとりの里」では利用者が微減しましたが、報酬改定もあり、サービス活動収益 4,319 千円増額し、費用では人件費の増加と前年度の事務費のうち外壁塗装工事を除くとサービス活動費用は 37,131 千円減額し、サービス活動増減差額は 41,450 千円増額しました。

「居宅支援センター」は、サービス活動収入で 867 千円減額し、サービス活動増減差額は 855 千円減額となりました。

「豊岡やなぎの里」では、介護報酬増額改定もあり、サービス活動収益が 473 千円増額し、費用では人件費の増加があり、サービス活動増減差額は 692 千円増額となりました。

「コスモス荘」では、措置費の単価改正により収入がサービス活動収入で 5,408 千円増額し、費用では人件費の増加と前年度の事務費のうち外壁塗装工事を除くと 32,839 千円減額し、サービス活動増減差額 34,381 千円増額しました。

「加陽いちごの里」では、利用者も減少し活動収入も 1,172 千円増額、費用でも人件費の増加があり、サービス活動増減差額 1,547 千円減額しました。

本年度は、介護報酬増額改定により、収益の増収に努めていただきました。また、費用においては、前年度の外壁塗装を除く通常年度と比較するとサービス活動増減差額が前年を若干下回る計上となりましたが、コロナ禍において各事業所が感染症の影響を最小限に抑えていただきました。

今後も利用者確保により収入の安定を図り、経営の充実に努められ、利用者の皆様に安らぎのある空間を提供し、職員にとっても働きがいのある職場になるよう一層の努力を期待します。

單位：千元

單位：千元

單位：千元

- 事業活動計算書で、本年度と同一基準で計算しています。
- 本部は「このとおり」に含めています。
- 各事業取組の取引の明細を明らかにするため、内部取引控除前の数字で表示しております。
- 千田未達の数字は、四捨五入しておりますので、合計額が一致しない場合があります。